

お知らせ

横浜子育てサポートシステム入会説明会

「子どもを預けたい人」と「子どもを預かりたい人」が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子育ての支援を行います。

会員になるには、入会説明会に参加後、会員登録が必要です。「預かりたい人」は3日間の研修があります。

※当日は、別室での保育(無料)も行ってまいりますので、ご希望の方は、同時にお申込みください。

日 時：平成25年 2月21日(木)、3月21日(木)、
4月18日(木)、5月16日(木)、
6月20日(木)、7月18日(木)

各日 午前10時30分～11時30分

場 所：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：前日までに電話でお申込みください。

第14回 ようこそ・であい広場

ハッピーなであい ハッピーな発見 ハッピーな輪をひろげよう

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるおまつりです。

栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障がい者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催いたします。

日 時：平成25年3月2日(土)
午前10時～午後2時

会 場：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

内 容：バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
パソコン体験コーナー
子どもの遊びコーナー(景品もあるよ!)

主 催：ようこそ・であい広場 実行委員会

平成25年度 さかえ ふれあい助成金 日赤地域福祉活動助成金 説明会

さかえ ふれあい助成金と日赤地域福祉活動助成金は、区民同士の支えあいによるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的とします。募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日 時：① 平成25年3月14日(木) 午後2時～
② 平成25年3月15日(金) 午前10時～
(①、②とも、同一内容です)

会 場：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内
団体交流室

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ、FAX、電話で、3月7日(木)までにお申込みください。

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
※助成金の申込みは、平成25年4月1日(月)から4月30日(火)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同基金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

【編集後記】
「町内の人同士、もっと顔見しりになろうよ」ということで、笠間地区全域が三ブロックに分かれ「サロン」が「サロ」にスタートしました。
私が座長を務めるAブロックでは合言葉「集まり遊ぶ、そして学ぶ」とし、定番のおしゃべりの他に、囲碁、将棋、麻雀、花札など遊び心を前面に出した集まりの場としました。
予想していた通り、全く知らない人同士でも、共通の趣味、遊びを介せばあっという間に打ち解ける結果となったことです。
「来月も来るよ!」そんな言葉が聞きたくて、これからの仕掛け作りを楽しみながら摸索している毎日です。
(鈴木)

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
登 田(堀田 賢二) 笠 間(鈴木 繁)
小宮ヶ谷(山崎 咲恵) 本郷中央(木村知恵子)
本郷第三(片山 榮二) あさの会(小林 匡樹)
上郷西(保坂 京子) いでたち(二村 忠孝)
上郷東(堀畑 朋子) 積み木(水上 広枝)

【編集後記】
「町内の人同士、もっと顔見しりになろうよ」ということで、笠間地区全域が三ブロックに分かれ「サロン」が「サロ」にスタートしました。
私が座長を務めるAブロックでは合言葉を「集まり遊ぶ、そして学ぶ」とし、定番のおしゃべりの他に、囲碁、将棋、麻雀、花札など遊び心を前面に出した集まりの場としました。
予想していた通り、全く知らない人同士でも、共通の趣味、遊びを介せばあっという間に打ち解ける結果となったことです。
「来月も来るよ!」そんな言葉が聞きたくて、これからの仕掛け作りを楽しみながら摸索している毎日です。
(鈴木)



さかえ区社協だより

No.37

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区柱町279-29ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045 (894) 8521

Fax 045 (892) 8974

平成25年2月1日発行

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp 承認：栄区連第127号

栄区社協は、福祉の学習を応援しています!

栄区社会福祉協議会では、福祉の学習を応援しています。総合学習や道徳・人権教育などの時間に行う学習のテーマに沿って、コーディネートを行っています。

実施している内容は、高齢の方や障がいのある方の生活についてのお話や、福祉体験など、様々です。また、実施にあたり区内のボランティア団体や当事者の方々、各種施設・地域の皆さんにも講師になっていただき、共に学習するだけでなく、地域と学校との交流の場にもなっています。

発達障がい理解についてのプログラム 「バネル・バベットシアター」



疑似体験や障がいのある人との交流プログラム 「車椅子体験」 「誘導体験」



福祉の学習

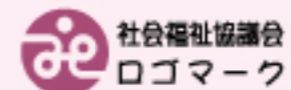
高齢者理解についてのプログラム 「高齢者疑似体験」



栄区社協では、この他にもテーマに応じて、様々なプログラムを実施しています。福祉の学習についてご相談がありましたら、栄区社会福祉協議会までご連絡ください。



栄区社協だけでなく、地区社協をはじめ地域の方々を中心となって、福祉の学習に関わっていることもあります。中面では、その一例をご紹介します!



社会福祉協議会 ・ 社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手をとりあって、ロゴマーク ・ 明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

笠間地区

かがやきフェスタ

11月10日(土)、笠間小学校に於いて、同小学校の全学年を対象にした「かがやきフェスタ」が開催されました。

これは自分たちが生活している「笠間」で、その道に精通した人生の先輩方を先生に迎え、日頃の授業では学べない体験をしてもらうという、学校行事のひとつです。

今回は、笠間地区社協が中心になり運営している「福祉教室」取材しました。高齢者疑似体験、車椅子体験、福祉かるたの3コースが用意されており、22名の子どもたちで賑わっていました。

そのなかでも車椅子を体験している子どもたちに密着。二人一組で、交互に車椅子に乗り、押すのですが大苦戦。最初は面白半分で押していても、15センチほどの段差に差しかかると表情が一変、わずかに15センチが持ち上がらないのです。改めて自分たちの生活している周辺に目を向けると、ありとあらゆるところが段差ばかりということに驚かされます。福祉の原点は、「ごく身近から見つめ直すことだよ」と、教えてもらったような気分です。

「車椅子を押す時は、前を特に気をつけたいが、いざ自分が乗ってみると、座っている時の方が不慣れになり、とても恐かった」と何気なく言った子どもの感想が、高齢者の首振りや杖を代弁しているように思えてならず、いろいろ考えさせられた半日でした。

「福祉教室」の運営に協力している、笠間地区社会福祉協議会の本田賢会長より、「笠間小学校では「夢をつむぎ、夢を広げ、笑顔あふれる学校」をテーマに子どもの学習を「～しなさい」から「～したいぞ」へと取り組んでいると聞いています。私たち地域の大人たちもそれぞれが持っているものを、子どもたちに伝え、豊かな学校生活を送れるよう、これからも続けたい行事です。」との話を伺いました。(鈴木・木村)



【福祉かるた】



【車椅子体験】



第26回栄区社会福祉大会が開催されました

平成24年11月12日、第26回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会・栄区内各地区社会福祉協議会)が、栄区役所を会場に行われました。

当日は、好天にも恵まれ、来賓をはじめ、受章者などおよそ150人の参加者がありました。

第1部の表彰式典では、5団体と9名の個人が受章されました。(受章者については、一覧をご覧ください。)

第2部では、「地域福祉活動と福祉施設との協働」をテーマに、上郷西地区社会福祉協議会による発表があり、それを受けて、区内福祉施設の方をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。会場からも多くの質問をいただき、活発な意見交換ができました。

最後に日浦副会長より「栄区には福祉施設を受け入れる土壌がある。地域活動に施設をもっと活用してほしい。共に栄区の福祉活動を進めて行こう」という力強いお言葉をいただきました。

今回の訪問記では、第26回栄区社会福祉大会での受章者 神田橋恭博氏が所属している「積み木」の活動をご紹介します。

ボランティア活動功勞

笠間栄福会
世代交流サロンゆずりは
湘南ハイツ子どもプロジェクト
特定非営利活動法人あけぼの会

金品寄託功勞

アンサンブル パストラーレ

福祉団体自主活動功勞

池田 勝敏	三村 敬一
内海 澄子	片岡 喜久江
神田橋 恭博	小華和 結記
口野 たか子	谷川 利枝
田中 幸子	

(敬称略)

特定非営利活動法人

「積み木」

「ご近所に、ちょっとおかずのおすそわけ」そんな思いから、平成6年11月から木曜日に昼食の「配食活動」を開始。平成16年9月には地域住民交流の場「友遊ひろば積み木」の開設が加わり、この2つが活動の大きな柱になっているそうです。配食サービスは、毎月第1～第4週の火・水・金には夕食、木曜日には昼食の宅配を実施、お弁当配達時の声かけ、安否確認も大切にしています。

現在、配食サービス利用者120名余。(豊田・小菅ヶ谷・笠間・田谷地区)ボランティア会員200名余、毎年10数名の新しい会員さんが加わって下さるとの話でした。

配達ボランティアを毎月12回、10年以上携わっておられる神田橋恭博さんは「会社勤めの頃と違いボランティアは、人に喜んでいただき、自分の生活にも張り合いができストレス解消で健康につながります。仲間との話し合いや配達時の声かけを記録しておくことで、利用者の様子が共有でき安心です。」と極めの細やかさが伺えました。

また、「友遊ひろば積み木」を拠点としたさまざまな交流活動も盛んで、毎週木曜日のお昼は、積み木のお弁当を利用した会食会が行われています。訪問した日も本郷台地域の方々や民生委員さんで、お弁当をいただきながらのお喋りが弾んでおりました。皆さん、木曜会食会を楽しみになさっているとのこと。なお、第3月曜日の積み木カフェ(午後5時～7時)はお酒とおつまみも楽しめるそうです。

代表の後藤喜久子さんは、自分もいずれ年を取ることを思い「お互いさまの心で出来るだけ多くの住民が少しずつ力を出し合い、支え合う地域づくりをめざしたい」との考えをお持ちでした。

取材を終えて

お弁当の配達にも同行させていただき、利用者さんとの関わり方も拝見することが出来、すばらしいシステムや心配りには驚くことばかり。

お昼には食べやすく美味しいお弁当を試食させていただきました。

(堀畑・保坂)



献立表を添えてお届けします。



豊田地区

豊田!夏ボラ講座 身近な地域でボランティア

豊田地区では平成18年から地区社協、民生委員・児童委員協議会、ボランティアグループ等で構成される「子どもネットワーク委員会」が中心となり、豊田地域近隣に在住・在学する中学生・高校生・大学生等に呼びかけ、「豊田!夏ボラ講座」を開催しています。

この講座は子どもたちにボランティアとして参加してもらうことで、新しい自分に出会い、自分に出来ることを考えてもらうために行っています。修了者には「ボランティア活動記録カード」を渡します。また、活動先を豊田地域で活動しているボランティア団体、施設、行事にすることで、活動を地域に広め、世代間の交流や新たな担い手へつなげて行く目的も持っています。

「豊田!夏ボラ講座」の運営に協力している豊田地区社会福祉協議会の小嶋信治会長から、「ボランティア活動は、学校では学べない「地域交流学習」です。「夏ボラ講座」で巣立った豊田っ子は、自ら積極的に地域の行事に参加する人が増えました。さらなる出会い、歳の差のある人とのコミュニケーション等、多くの経験を積み重ね、将来、次の担い手として育ってくれることを願っています。」との話を伺いました。(堀畑)

今年も、夏休み期間中に53名の中学生が参加してくれました。

以下の写真は地域の活動団体でのボランティア体験の光景です。



【高齢者グループホーム】



【豊田地域ケアプラザ夏祭り】



【子育てティーサロン】



【積み木】